

市の「伯耆の国よなご文化創造計画」に対案を提唱！

- ☆ 山陰歴史館、市立図書館の修復、増改築に 20 数億円の投資はもったいない。
- ☆ 現山陰歴史館は、旧庁舎の建物、老朽化で狭隘、展示事業のエンターテインメント効果は期待でない。
- ☆ 現市立図書館は、人口 3 万人都市規模の施設。図書冊子数 23.7 万冊。増改築をしても人口 15 万人都市規模の図書冊子数 58 万冊に手が届かない。

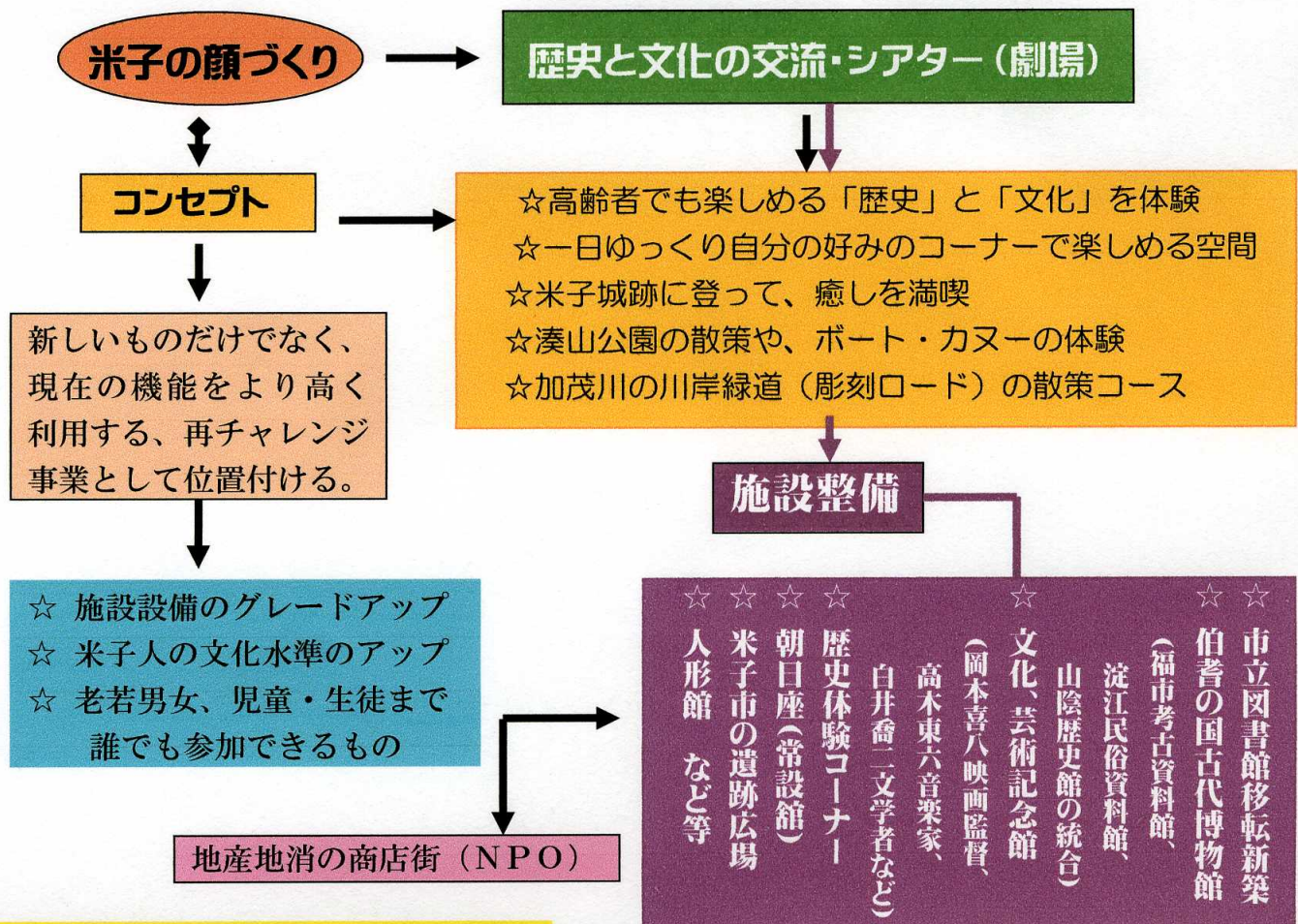
施設規模が事業のエンターテインメントの効果を決める。「対案」は、生きた税金の使い道。

国指定「米子城跡」を文化と観光・癒しの資源へ

絶景の眺望 → 市街地、美保湾、大山、中海、島根半島



市営湊山球場地の再活用計画（城山、湊山公園、川岸緑道（彫刻）の一体化構想）



☆市民協働グループのコースガイド形成

（湊山公園散策、ボート・カヌー体験、ロードの散策、下町の散策、遺跡の散策）